

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	巣立 弘志	電話	483-1151 内線3220
-----	-------	-----	---------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業						短縮コード	経常	3242	臨時	3243	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同施行令、同施行規則、八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法 浄化槽法									

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

し尿処理業務は、民間業者が数社で作業をしていたが、法改正により業務遂行が不可能になり、代わって財団法人八千代市衛生公社を昭和42年に設立して、市の委託を受け業務を開始した。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測

公共下水道等の整備に伴い、計画処理能力に比べ実際に処理しているし尿や浄化槽汚泥の量が年々減少してきている。また、浄化槽の整備に伴い、収集されるくみ取りし尿が減少し、浄化槽汚泥の収集割合が増加する傾向となっている。

現在の施設は、一般的な耐用年数を超えて稼動を継続しており、突然的な故障の発生もある。

しかしながら、し尿処理を継続的に維持していくためには、本市の財政状況は逼迫しており、公共サービスの質的安定と経済効率の両側面での向上が求められている。

し尿処理事業も見据えた、市の一般廃棄物処理基本計画の基本理念は、循環型社会への転換であるが、その視点に立って見た場合、これまでの、し尿等の衛生処理、周辺環境負荷の軽減に加え、廃棄物系バイオマスの利活用を含めて資源循環型社会の形成に寄与することも求められている。

こうした状況について、環境は広域化による対策を提言しているが、本市周辺自治体との連携は、費用やコストの問題など、解決せねばならない課題が山積している。

総合計画の施策体系

6本の柱(章)	03	第3章環境共生都市をめざして
大項目(節)	02	第2節資源循環型社会の形成
中項目	01	1. 一般廃棄物
小項目(施策)	03	(3) し尿の適正処理体制の整備
細項目	01	①衛生センターの適正な管理運営
	02	②衛生センターの維持管理
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~	計画事業費	千円
--------------	--------------------------	--------	---	-------	----

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	し尿 浄化槽汚泥 市民、事業者
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成24年度に実際に行なったこと: ①し尿収集運搬業務を環境緑化公社へ委託 ②し尿汲取り申請受付業務 ③し尿汲取り手数料の賦課・徴収業務 ④過誤納金の還付 ※平成25年度に計画していること: 前年度と同じ
意図 (何を狙っているのか)	し尿汲取り業務を効率的に行い、生活環境の保全を図る。
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外

区分	単位	23年度	24年度		25年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	し尿処理人口	人	1,514	1,852
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1	し尿汲取り件数	件	8,438	8,016
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1	1件あたりの処理コスト	円	3,383	2,770
	指標2				
	指標3				
上位成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業			所属名	クリーン推進課
事業費(A)	財源内訳	単位	23年度		24年度		25年度
			実績	計画	実績	計画	
		国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	18,622	11,738	11,561	8,724
		その他	千円	9,926	10,470	10,022	9,196
主な事業費の内訳			八千代市環境緑化公社への委託料 28,980千円	八千代市環境緑化公社への委託料 21,672千円	八千代市環境緑化公社への委託料 21,079千円	八千代市環境緑化公社への委託料 17,388千円	
人件費(B)	千円		10,417	9,322.9	10,721.6	10,564.3	
トータルコスト(A)+(B)	千円		38,965	31,530.9	32,304.6	28,484.3	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「し尿の適正処理体制の整備」については、中心的な事業として、衛生センターの管理等が記載されているが、し尿と衛生センターが行うし尿処理とは切り離すことが出来ないことから、結びついていると考える。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	し尿処理は、下水道や浄化槽の整備により、汲み取り、収集運搬、し尿処理という一連の事業は縮小され、最終的には必要が無くなることが望ましい事業である。しかしながら、現実的には2,000人近くの汲み取り対象者がおり、工事やイベント等で使用される仮設トイレも横ばい若しくは増加の傾向にある。 こうしたことから、所期の目的を達成したとは言い難い。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input type="checkbox"/> 可能性はある				
有効性・効率性	③民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない	し尿汲み取りは、事業としては将来性のない(減らすことが目的の)事業であり、民営化をする場合、名乗りを上げる事業者が無いのではないかと考える。			
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい				
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
有効性・効率性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか?	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性がある	汲み取り人口が減少しても、経費を減らすことが出来ない状況の中で、ますます効率的な事業運営が困難になっている。 しかしながら、下水道や浄化槽の整備の行き届かない市民や事業者にとっては必要不可欠な事業であり、中止や中断は出来ない状況にある。 「し尿処理について市が統括的な責任を有するので、民営化することはない。」			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性がある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性がある				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
		<input type="checkbox"/> 民間委託等	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。			
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時の任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
有効性・効率性	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事業 事務 事業 名称	1	実施主体 (所管部署)	
		<input type="checkbox"/> 上記以外の方法		2	実施主体 (所管部署)	
		<input type="checkbox"/> ある				
		<input type="checkbox"/> ない				

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業	所属名	クリーン推進課	
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続	下水道や浄化槽の整備の行き届かない市民や事業者にとっては必要不可欠な事業であるため、引き続き実施していくが、事務事業の効率化のため、近隣市との広域処理を展望してきたが、隣接する習志野市が市川にとの広域処理に踏み切ったことにより、対象が絞られてきている。また、対象として挙げられている市・組合に対する働きかけは行っているものの、高額な負担金など一時的な負担が必要となり、予算が確保できない状況では広域処理に踏み切れない。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善				
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小				
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し				
<input type="checkbox"/> その他						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止						
<input type="checkbox"/> 事業完了						
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続						
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		経 費			利用者は、年々減少する方向にあるのに、施設は現状のまま維持しなくてはならない。したがって、一人あたりのコストは増加することになる。また、施設は年々老朽化しており、維持管理に要する費用も増加することになる。	
		成 果	削 減	不 变		増 加
			<input type="checkbox"/> 向 上	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> 不 变	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
し尿処理手数料の納入窓口の拡大（コンビニ等）	

所属長コメント	し尿処理事業は、必要欠くべからざる事業ではあるが、他方、下水道の整備・浄化槽の普及によって事業規模が縮小していく事業でもある。こうした、他事業の推進が当該事業の縮小につながる事業を評価することは非常に困難である。 また、効率化を進めるようにと、し尿処理事業の広域化について多くの方から指摘されているが、他自治体との協議内容、当該施設付近の住民との関係などを考えると、事業の維持自体も厳しい局面に立たされている。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他	担当課評価のとおり、現状のまま継続とする。
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	
	<input type="checkbox"/> 事業完了	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	